イベントのお知らせ

✿おはなし会（毎月第２･第４土曜日 11:00～）
会場:吾妻まちづくりセンター　和室
対象:３歳～　　内容:読み聞かせ、すばなし、手遊び、工作等

✿親子おはなし会（毎月第３金曜日 10:00～）
会場:吾妻まちづくりセンター　和室
対象:乳幼児と保護者　　内容:乳幼児向けの読み聞かせ、手遊び等

✿図書館まつり
日時:11 月 7 日(土)･11 月 8 日(日)



1. リサイクル本市
   両日 9:30～17:00　吾妻分館入口

2. かしだし　てつづき　じぶんでピッピッ！
   両日 9:30～17:00　吾妻分館カウンター

3. ミニ工作会「くるくるまわる　てつぼうどうぶつ」
   7 日(土)　13:00～14:00　/　8 日(日)　10:00～11:00
   吾妻まちづくりセンター　和室

4. スペシャルおはなし会
   7 日(土)　14:00～14:30　/　8 日(日)　11:00～11:30
   吾妻まちづくりセンター　和室

5. 秋の読書週間　本の福袋
   期間:10 月 27 日(火)～11 月 8 日(日)　吾妻分館展示棚
   子どもから大人まで、どなたでも借りられます。
   「本の福袋」とは、題名が見えないように包んだ本を3冊セットで貸出するというイベントです。
   どんな本が入っているかは開けてからのお楽しみ。

編集・発行　所沢図書館吾妻分館　☎04-2924-0249



吾妻分館図書館だより

No.81　2026 年 10 月･11 月号

▽分館長より

秋分の日の頃、どこからか甘い香りが漂ってきました。香りの正体はキンモクセイ。この香りをかぐと秋の訪れを実感します。

小さなオレンジ色の花から漂う香りは、何メートル先からも感じられるほど。香りの強いキンモクセイは、ジンチョウゲ、クチナシとともに三香木と言われています。

キンモクセイはモクセイ(木犀)という木の仲間ですが、樹皮が動物のサイ(犀)の皮膚に似ていることから、この名前がついているのだとか。

身近な樹木ですが、改めて本で調べてみると新しい発見がありますね。

(参考『大人の園芸　庭木花木果樹』濱野周泰/監修　小学館　2006 年)

〈内容〉

▽分館長より
▽イベントの報告
▽吾妻分館のおすすめ本
▽イベントのお知らせ

所沢市立図書館
ホームページはこちら

QR コードはデンソーウェーブの登録商標です

イベントの報告　夏のこうさく会
レインスティックをつくろう！

8月 16 日(日)に「夏のこうさく会　レインスティックをつくろう！」というイベントを行いました。申し込み開始後、早々に定員に達しましたが残念ながら当日１名の欠席があり、小学１年生から６年生まで９名の参加となりました。

レインスティックとは、筒状の本体を左右に傾けるとサラサラと雨のようなとても涼やかな音が鳴る南米の楽器です。

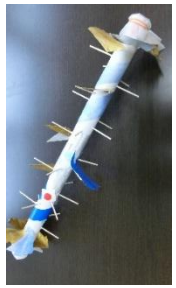
今回の工作ではラップの芯を２本つなぎ合わせ、螺旋状に穴をあけ、その穴に楊枝を挿し込んで音が鳴る仕組みを作りました。音が鳴る仕組みを作り終えると、端を紙や布で塞ぎ、大さじ１杯ほどのお米を入れると楊枝にお米が当たってサラサラと音がなるようになります。

あとは外側に装飾をしてそれぞれの気に入ったデザインに仕上げれば完成です。子ども達はそれぞれ、飾りや色を付け、自分だけのお気に入りのデザインに仕上げていました。

できあがったレインスティックはひとりひとりの個性が際立つ、世界にひとつしかない素敵な作品になりました。

図書館ではおはなし会などのイベントを定期的に行っておりますが、工作会も人気のイベントです。工作を通して図書館をより身近に感じてもらえるよう、今後も楽しい企画をたくさん考えてまいります。



吾妻分館のおすすめ本

～ スタッフのおすすめする本 ～



10 月 27 日からは秋の読書週間ということで今回は吾妻分館スタッフのおすすめの本をご紹介します。

『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』　青柳　碧人　著

旅の途中で次から次へと起きる事件を赤ずきんが探偵役になって解決していく物語です。色々な童話の主人公たちと赤ずきんとの掛け合いも面白いですし、赤ずきんの旅の目的が気になりすらすらと読みやすいミステリー小説です。

『11/22/63』　スティーブン・キング　著

ケネディ大統領暗殺を阻止するため、過去へと旅立った高校教師ジェイク。古きよき時代のアメリカ、心惹かれる女性との出会い、改変を拒む「時間」の妨害。長い旅の果てにジェイクが下す決断は？ ミステリーと人間ドラマが凝縮された大長編。秋の夜長のお供にぜひ。

『赤めだか』　立川　談春　著

菓子が欲しいとせがむ子に父は権利と義務を諭した。競艇選手になりたかった少年は 17 歳で立川談志に入門。前座時代の話から２つ目昇進まで「チケットが取れない落語家」談春の軽妙な語り口そのままに、笑って泣けるエッセイです。

今回は３名のスタッフのおすすめの本をご紹介しました。興味がある本がありましたら、ぜひ読んでみてください！